

## セキュア・ネットワーク構築のための人材養成

(実施期間：平成13～17年度)

実施機関：大阪大学サイバーメディアセンター（代表者：岸野 文郎）

### 人材養成の概要

本課題は、IT社会の高度化・複雑化が進む中で、人材不足が深刻化するネットワークセキュリティの高度専門技術者を養成することを目的とする。

大阪大学大学院情報科学研究科、および民間企業(NEC)と連携を図り、大阪大学において実運用されているネットワークを用いたトレーニングを中心に行うことにより、理論的知識の習得から実践的な運用スキルまでの幅広い教育を行い、ネットワークセキュリティに関する最新の知識を伝授する。このことにより、今後科学のあらゆる分野で必要とされるネットワーク運用の核となるリーダー的人材の育成を行う。

具体的には、大学院生、社会人などを対象に年間カリキュラムとして、半期ずつの基礎コース、応用コースを設け、高度な知識と技術力を有するネットワークセキュリティ専門技術者を育成する。

### (1) 総評

実践的な人材養成が効果的に進められており、非常に優れた成果が期待できる取組であると評価できる。大学という場を活用し、社会人に対して実践的な人材養成を実施していることは特に評価できる。プログラムの趣旨にも合致しており、養成人数の増員を図りつつ、今後も計画を推進するべきである。

<総合評価：a．非常に優れた成果が期待できる取組である>

### (2) 評価結果

#### 進捗状況（目標達成度）

所期の目標を上回る人数の人材を養成しており、順調に進捗していると評価できる。

#### 計画の妥当性

大学のネットワークシステムを活用しており、セキュリティのように実践的な分野においては、効果が大きい。妥当な計画であると言える。

#### 人材養成の成果

企業からの受講希望が多いことをみると、社会的にも高い評価があるものと評価できる。一方で、企業からの旺盛な需要に応えるために、コース新設を行うなど、受講生の定員を増員するような方策を期待したい。ホームページの整備状況もよい。

#### 実施体制

代表者の指導性は十分に発揮されている。機関としても、インフラの提供など積極的に関与していると評価できる。

#### 実施期間終了後における取組の継続性・発展性の見通し

地域振興との結びつきを進めており、実施期間終了後も、十分に継続・発展が期待でき

る。

(3) 評価結果

総合評価	今後の進め方	進捗状況	計画の妥当性	人材養成の成果				
				人材の有用性・将来性	実施内容の有用性・効果	人材養成の方策	ユニットの波及効果	情報発信
a	a	-	-	-	-	-	-	-

実施体制			継続性・発展性
代表者の指導性	実施機関の組織的な関与	関係機関との連携	
-	-	-	-

新興分野人材養成については、「総合評価」及び「今後の進め方」の2項目のみについて、各評価項目に関する議論を踏まえた上で、WGとしての評価結果を決定した。しかしながら、他のWGと異なり、他の評価項目については、WGにおいて意見の集約を行わなかったため、この部分を空欄としている。